

榊山神社だより

平成26年10月
12号

■ 自然が生む恵みと脅威

稲刈りはもうお済でしょうか。今年はお盆のころから長雨で何時もの年比べ収穫も遅れ、農家の方にとっては予定が狂ったことではないでしょうか。その反面、栗や柿・梨などが豊作のようです。でも、この地方では雨や風による災害は、ほとんど見受けられませんでしたが、異常気象による災害は日本各地に及び、特に長野県南木曾町の雨による土砂災害、広島県広島市北部の安佐北区や安佐南区の大規模土砂災害と非常に悲しいことが多くありました。心痛めた方も多かったことと思います。

昔から、災害は多くあります、特に忘れたところにやってくる災害ほど甚大な被害を及ぼします。

神社でおこなう祭りには例祭と呼ばれる創建にまつわるお祭り、一年の恵み（豊作）を祈願する祈願祭その恵みを感じ謝する感謝祭、人生儀礼のお祭り、そして、神に対して畏敬の念を表し、神霊を慰める祭りがあります。祭りの意義はいろいろありますが、特に神を敬い、自然の脅威に注意喚起する祭りを忘れない

ようにしたいものです。

■ 夏祭り斎行に関して

祭元関係者の元中組、植苗木、元野尻、皆様、大変ご苦勞様でした。今年は例年にくらべ暑い年でお祭りをするにも大変な年であったように思います。

祭元の地区の方たちは仕事を抱える傍ら四月から打ち合わせや準備を始め、祭り当日まで、長い期間準備をしていたいただきました。其の甲斐あって無事、斎行できましたこと感謝申し上げます。

毎年のことですが、祭りに携わる地区の町内会長さんは取りまとめや進行について初めて行う方ばかりで苦勞された事と思います。町内会の方や、他の町内の方とふれあい、祭りを盛り上げる為、気持ちのひとつにして取り組む姿が、本来の祭りの姿であり、そこに、人としての絆を見ることができます。非常に意義のあることだと常々感じています。神社が行う神事は目に見えないもの（神）に對しての日頃の感謝を最大限に表すものですが、神事以外の準備にかかわる事は

多くの人が一つの事に対して協力しあい連帯感のコミュニケーションの場であると思っています。年配の方から若い方、子供、この地区に移り住んで来た方が一同に会して行うお祭りです。これからもこのお祭りを盛り上げる為、皆様方の協力をお願いいたします。

■ 幽光御神灯祭

八月十五日に行う準備をしておりましたが、当日大雨になり中止としました。今年も参詣者の方に見て聞いていただけるようフルート、オカリナ等の演奏会を準備していただきました非常に残念でなりません。楽しみにしていた方、また演奏者の方、大変、申し訳ありませんでした。これに懲りず来年も行う予定ですのでその際はよろしくお願いします。

■ 神社境内修理等の報告

前回神社だよりにも報告しました、拝殿の石垣修理、神具倉庫の建設、受付場所の新設が完了いたしました。皆様からいただいたお礼金や、奉納金の積立金を取り崩して進めることが出来ました。改めて御礼申し上げます。今までになく神社の尊厳が高まったように見えます、これも皆様方の神社に対する理解の賜だと思います。修理、建設にかかりま

した、費用については今期締めたときの会計報告の中で説明させていただきます。

榊山神社も伊勢の神宮のように二十一年に一度、すべてのものを新しくすることが出来ればよいのですが、現実的にはありません。そのため、古くなってもうこれでは神社の体裁が保てない事になったらその時に、修理するか新設するかしなければなりません。その際は、協力とご理解をお願いします。

早速出はありますが、現在、神社にはなくてはならない手水舎が古くなり、傾いて危険な状態になりそうだと報告があります。この手水舎は百年以上も前に建設されたものとして記述されております。来期の計画として手水舎の修理を計画いたしますのでその際は、よろしく願います。

■ 大石棒神

だいごくぼう

九月吉日、神社拝殿の脇に大石棒神を拝祀いたしました。このご神体は、古く繩文期の信仰の対象としてあった石棒せきぼうとい伝えられています。その姿は、石で作られた男根の姿をしています。そのため、信仰は子宝、健康増進と考えられます。出所については、川原から出土したもので、それを見つけた家庭で祀られており

ましたが、とある事情で神社にて祀ることとしました。何処に祀るか考えていませんでしたがいつまでもほっておくことが出来ませんので此度、神社拝殿脇に石の社を新設して、誰でもお参りできるようにしました。

社新設費用は宮司の寄付奉納で前田石材にて建設いたしました。そして、九月二十三日、大石棒神鎮座竣工祭を神職・職員・総代長で執り行い、これから先、多くの方にお参りして頂けるよう祈願いたしました。

子供のほしい方、恵まれない方、健康に自信のない方、ぜひ、お参りして、御神徳をお受けください。

■ これからのお祭り

十二月十六日(日) 七五三まつり

毎年、多くのお子さんが神社参詣にいらつしやいます。お子さんの無事成長を願うお祭りです。ぜひ、お参りにお越し



ください。

参加者は事前予約が必要です。申込書は十月中旬の新聞の折り込みチラシに付いていますので FAX でお願います。また、電話も受付ますので早めにお願います。

宮司 深谷 耕平

電話 0573-72-2892

FAX 電話と同じ



十一月二十三日(日) 秋祭り

収穫を祝うお祭りであり近年は勤労を感謝するお祭りです

「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがい感謝しあう」

この日は今年取れたお米で甘酒を振舞います。二時から神事で神事終了後、餅投げもありますのでお越しください。

■ 来年の伊勢の神宮参拝旅行

平成二十七年一月二十三日(金)

～二十四日(土)

神宮参拝日の次の日は京都観光と決ま

りました。申し込みを十二月から行いますので、参加者をお待ちします。



■ 巫女の募集

正月一日～三日の3日間、お手伝いをお願いいたします。

人員二名・時間帯は九時～十五時

内容 お守り・おみくじ・御神札の頒布

バイト料 18000円

連絡先 宮司 深谷 耕平

電話 0573-72-2892

※選考の上、決めさせていただきます



■ 榊山神社祖霊舎ならびに祖霊の墓

榊山神社氏子会館内には祖霊舎があります。また、長根の共同墓地には榊山神社祖霊の墓があります。

祖霊舎は、この福岡区において家系が絶えてしまった家の御位牌や行き場のない御位牌を預かる施設です。祖霊の墓も同じようにお墓がなく、行き場のない御遺骨を納める施設です。

最近では、子供さんがいない為、将来、どのような扱いになるのか分らない方のご相談や、家を継ぐものがない為、ご先祖様の御位牌や自分たちの将来に不安になっている方の相談が時々あります。できる事なら親族の方たちにお世話になればよいのですが、そうすることが出来ない方も多くいらつしやと思います。もし、お悩みでしたらご相談ください。

榊山神社 神職・氏子総代まで連絡ください。お応えしたいと思います。

余談ですが、祖霊舎では年に二度、お彼岸の時期に合わせて霊祭り(亡くなられた方たちを慰める神事)を行っています。